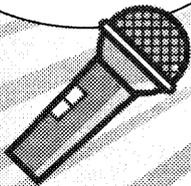


医療センター 疑惑の移転計画 ①

海老川上流地区への移転ありきで計画スタート?

なぜあそこになったのか



<市の主張>

●市内7カ所(※)を候補地として検討し、その中の一つである現医療センター近隣農地の地権者に売却の意向を確認したが、地権者の方にはこの場所で農業を続けていくという意向が強く、売却は難しいと判断した。●海老川上流地区は市の中心にあり、救急搬送の観点から見て望ましいと判断した。また将来の建替用地を含むまとまった面積を確保できる。●現医療センター敷地での建て替えは長期にわたる工事で患者への影響があるなど、デメリットが大きい。(令和3月2月、11月市議会本会議、「船橋市医療センター建替に係る候補地検討経緯」)

時系列で事実を整理してみた

| | | |
|---------------|--------|---|
| 1996 (H18) 以降 | | 東葉高速鉄道の開業を機に、市が海老川上流地区開発に動く(大橋和夫、藤代孝七両市長時代)。当時の市議会議員達や企業などが将来の値上がりを期待して上流地区の土地を購入。しかし地権者達の同意が得られず、開発は2回頓挫 |
| 2013(H25) | 6月 | 松戸徹氏、市長選で初当選 |
| 2014 (H26) | 4月 | 市長が海老川上流地区をこのまま放置するわけにはいかないと、方策を考えるよう指示。建設局が動く |
| | 6月 | 市が民間事業者4社[野村不動産(株)、三菱商事(株)、清水建設(株)、福岡都市技術(株)+清水建設(株)]から海老川上流地区の町づくり案を募集 |
| | 10月 | 4社に対し、東葉高速鉄道への新駅設置、および駅前への医療センター移設を条件に再提案を依頼 |
| 2015 (H27) | 4月 | 移転先として7カ所の候補地を検討。 |
| | 5月 | 現医療センター敷地とその近隣農地、市場敷地内に候補地を絞る→市場はまとまった面積の取得に経費と時間がかかるとしてはずす |
| | 7月 | 現医療センター敷地とその近隣農地に候補地を絞ると同時に、海老川上流地区の情報を関係部局で共有 |
| | 8月~10月 | 近隣農家(1軒)に健康政策課が用地交渉。訪問6回会えたのは4回。最大30分。アポなし資料なし、畑での立ち話も。市は購入は無理と判断 |
| | 11月 | 市長が海老川上流地区を医療と福祉の町にすることを指示。同地区を医療センターの移転候補地とする |
| 2016 (H28) | 2月 | 市長が海老川上流地区に医療センターを移設し「メディカルタウン」のような町をつくるのがふさわしいと発言 |
| 2018(H30) | 9月 | 市が「ふなばしメディカルタウン構想」を発表 |
| 2019 (R元) | 11月 | 医療センター移転場所が新駅前から上流地区北端に変更になる。変更は地権者の意向 |

松戸氏は市長就任翌年には、海老川上流地区への病院移転と新駅建設を計画



←市議会議事録、市民が情報公開請求した医療センター用地に関する交渉記録、「船橋市立医療センター建替に係る候補地検討経緯」在り方検討委員会議事録、地権者達の証言、その他市発表資料より

表向きはこの時候補地になったことに。でも前年に4社に開発案を作らせている

結局、上流地区の地権者のための開発ではないのか

※①現敷地&近隣農地②市場北側駐車場③市場敷地内④JR市場町社宅の一部⑤JR南船橋駅南口市有地⑥行田国家公務員宿舎⑦二和國家公務員宿舎

市長、おかしいでしょう

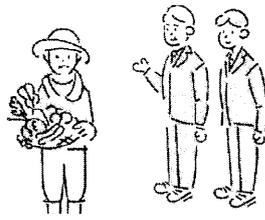
上流地区の地権者が大事な偏った言動

①「病院と駅を造って事業を支える」と地権者達に約束



松戸徹市長

～市長あいさつ～
海老川上流地区は、船橋市のちょうど中心にあたり、また、中心市街地からも近く、東葉高速線も走っているという非常に市にとって重要な位置にあります。
私は当地区の特性を生かし、「心なほしメディカルタウン構想」を掲げ、新駅の設置とともに、医療センターを移転することで土地区画整理事業を資金面で安定的に支え、「また、健康寿命日本一を目指す本市の健康・医療の中核となるまち、遊べし続けるまちを目指すことでまちの魅力を新た



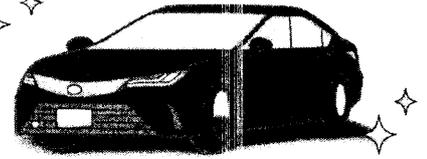
←近隣農家は担当職員がアポなし資料なしで病院用地交渉

↓上流地区の地権者は市長が公用車で乗り付けて開発を説得（共に地権者達の証言）

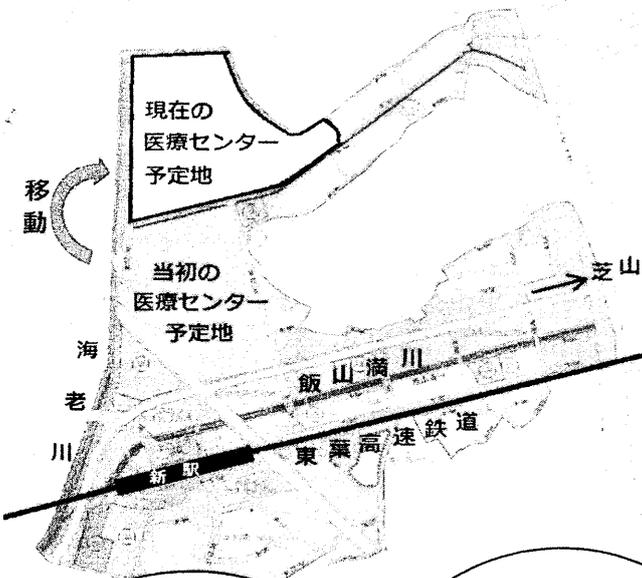
2018/10/15 発行の「組合設立準備会だより」。病院移転と駅建設は土地開発を成功させるための目玉企画として考えられたと推測

②医療センター近隣農家と、上流地区地権者たちとの交渉の差がスゴイ

前者は土地探しのアリバイ作りか？



③ 医療センター予定地が地権者達の要望で北に移動



←当初は「駅から車椅子で行ける病院」がうたい文句だった病院の位置が、2019（H31）年に駅から 800m も北に移動。病人が歩くにはきつい距離。

理由は地権者達が「駅前や幹線道路沿いの一等地は自分達がほしい」と言ったから。つまり市民の利便性より、地権者達の金儲けのほうが優先されたということ。また変形地になったため将来の建替用地は確保できなくなった。土地開発の業務代行(株)フジタは「フィットネスクラブやクリニックモールをもつ商業施設を誘致する」と言う。市長、「メディカルタウン」「高度医療の町」って何ですか？(在り方検討委員会議事録など)

④ 波紋が広がる市長の「相続税が心配」発言

2024年1月末に初めて開かれた市による事業説明会で、市長が上流地区の地権者達の相続税を心配

医療センターが南に移動して便利なのは市南部の人だけ。北部の人は見捨てられたと思った(小室・女性)

市は本気で病院の移転先を探したの？市から相談があったら考えてもいいという地主は何人もいるよ(高根町・男性)

駅から遠くなったら病院を移転する意味がない(宮本・女性)

メディカルタウンの要素は医療センターの移転だけ。結局あそこの地権者のために我々の税金が使われるんだよ(本中山・男性)

発行/メディカルタウン構想を考える市民連絡会(この号文責・山田素子) 2024年2月16日

〒273-0003 船橋市宮本6-4-13 FAX/047-423-8809 Email/renrakukai2023@gmail.com

カンパにご協力をお願い致します。千葉銀行船橋支店 普通 4715396 メディカルタウン構想を考える市民連絡会